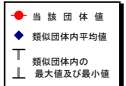


(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

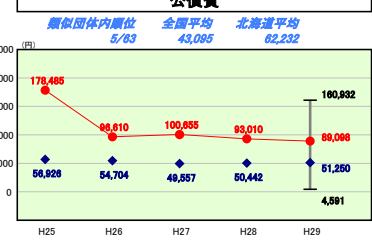
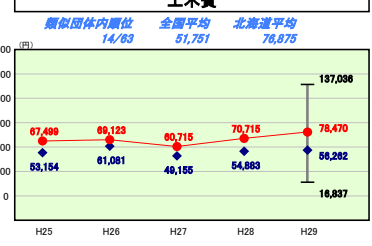
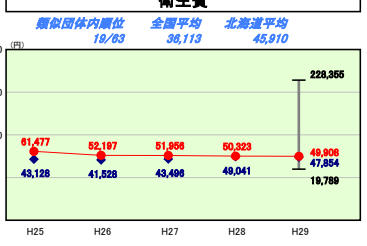
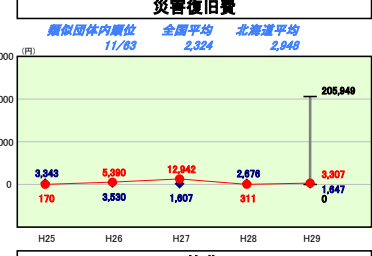
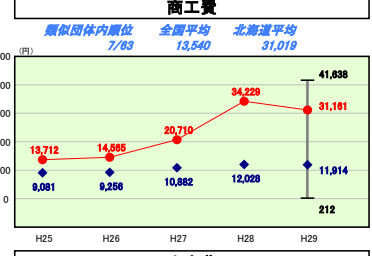
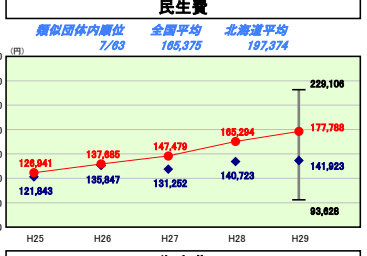
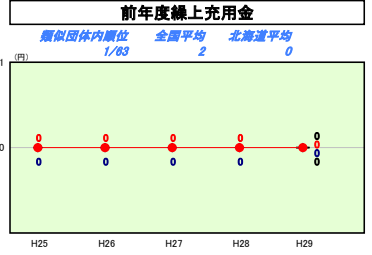
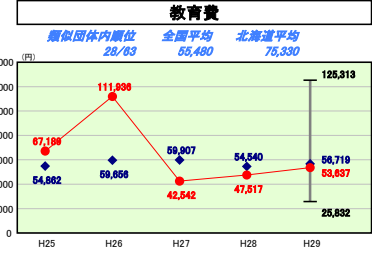
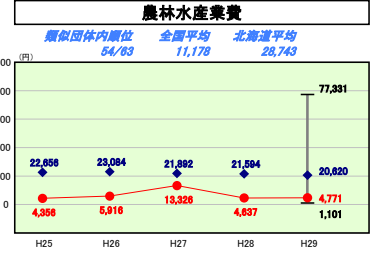
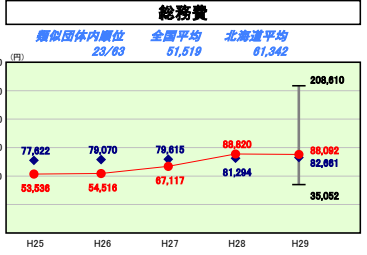
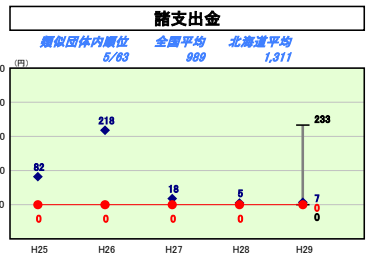
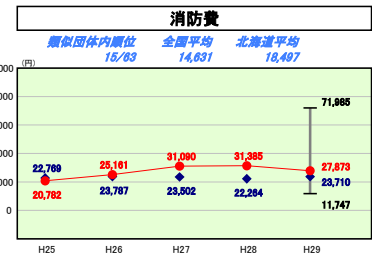
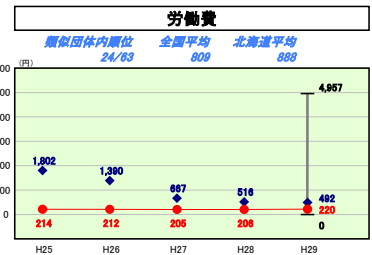
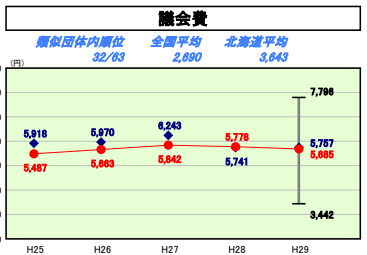
平成29年度

北海道白老町

人口	17,914人(980.1.1現在)	実収赤字比率	-	%			
うち日本人	17,187人(980.1.1現在)	運給実収赤字比率	-	%			
面積	425.64km ²	実収公債費比率	15.6	%			
歳入総額	11,078,197千円	将来負担比率	86.0	%			
歳出総額	10,561,725千円	市町村類型	H25 IV-2	H26 IV-2	H27 IV-2	H28 IV-2	H29 IV-2
実収収支	468,132千円	(年度毎)	H26 IV-2	H29 IV-2			
標準財政規模	6,319,139千円						
地方債現在高	11,213,227千円						



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概
 民生費については、増加傾向があり、平成29年度については各種社会保障経費に加え、認定こども園等運営経費が大幅に増加した。今後も社会保障関係経費や象徴空間整備に係る経費の増加が予想されるため、より一層の適正な事業執行及び上昇率の抑制に努めたい。
 商工費については、ふるさと納税の増加により返礼品発送に係る経費が増えたことが類似、北海道平均を大きく上回っている要因である。今後も増加する可能性を持つ科目であり、適度な事業執行とならぬよう注視したい。
 土木費については、道路橋梁費に係る経費の増の他、象徴空間整備に係る経費の増による。H30以降も大型事業を控えており今後も増加傾向となることが見込まれる。